



HOPPY team TSUCHIYA
レースレポート 公式練習・予選
2025SUPER GT Rd.2 富士スピードウェイ

日時	2025年5月3-4日	■車両名	HOPPY Schatz GR Supra GT
■場所	富士スピードウェイ	■カーNo.	25
■監督	土屋 武士	■ドライバー	松井 孝允／佐藤 公哉
■チーム	HOPPY team TSUCHIYA	■リザルト	公式練習 26位／予選Q1 A組14位 予選 28位

2 戦連続ポイント獲得へ！

厳しい土曜日でも粘り強く前を進み続ける！

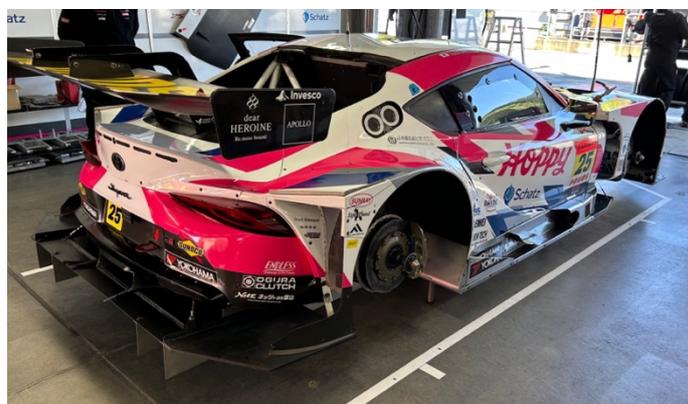
2 戦目を迎えた今季の SUPER GT シリーズは大型連休真っ只中の富士スピードウェイが舞台。この日も朝 7 時のピットオープンから大勢のファンが早くもカメラのレンズを色鮮やかなマシンに向けていた。今季巻き返しを図る No.25 HOPPY Schatz GR Supra は開幕戦では後方の予選順位から会心のレース運びで 1 ポイントを獲得。武士監督以下手応えを掴んだ。2 戦連続ポイントを得て、その感触をより確かなものにしたい。3 時間の長丁場を戦い抜ければ、きっとこの先に向けても大きな前進になるはず。HOPPY Team TSUCHIUYA の 2 戦目やいかに！

前日の土砂降り、強風の大荒れから打って変わって快晴に恵まれた土曜日。まだ雪の白い帽子を深めに被った富士山の稜線も色鮮やかに浮かび上がる中、午前の公式練習が始まった。

今回からマシンのカラーリングがわずかに変更。開幕を終えて「白が多いなあ」と語っていた武士監督の意向を受け、ピンクと青の面積がわずかながら増えた。

公式練習では前回岡山から仕様を変えたフロントタイヤの感触を確かめること、直線の長い富士スピードウェイに合わせながらも最適なマシンのバランスを求めての作業となった。まず松井選手がステアリングを握る。ポンポンとタイムを上げ 8 周目にこのセッション最速となる 1 分 38 秒 298 を記録。ここからより良いバ

ランスを求めて、車高や空力などを細かく調整する。タイヤも 2 種類を試し、数周走ってはピットインを繰り返しながらも最適解を探っていた。結局公式練習の間にタイムを更新する事はできなかったが、予選までの方針は見てきたところで公式練習は終了した。



▼公式練習 <26 位 タイム：1 分 38 秒 298>

▽松井孝允選手コメント

「いい部分、悪い部分があって、悪い部分は非常に気になる場所がありました。原因を突き止めるためにチームも予選に向けて最後まで諦めないでやっているの、とにかく一つ一つコツコツと積み上げて、一歩ずつ進んで行けたらと思います」

▽佐藤公哉選手コメント

「引き続き大変苦戦しています。岡山よりは確実に感触は良さそうなので、予選に向けてしっかりやっていきたい。美味しいところに持っていけるのが難しいので、チームとアジャストして一つでもいいものを持ち帰って、次の機会に活かせるように頑張りたい」

▼公式予選

Q1. <A組 14位 タイム：1分38秒253> Q2.進出ならず

決勝スターティンググリッド 28位

予選は今年から再びノックアウト方式に変更になったQ1。今回はA組での出走となった。担当は佐藤選手。10分間の予選開始。コースインから3周をウォームアップに当てて、タイムアタック。1:38.253。午前の公式練習でのタイムを更新した。そのまま時間内最後のアタック。ここは1:38.339と更新ならず。Q1のベストタイムは1:38.253。午前のタイムを僅かに短縮できたものの、A組の最後方14位と悔しい結果。Q2進出はならなかった。

そして、今季取り組む国産のギアボックスの開発プロジェクト。前回の岡山から直線の長い富士スピードウェイということでギア比などが変更されたものが持ち込まれた。こちらはトラブルなく公式練習、予選と役割を果たした。明日は長丁場の3時間レースだが、フィニッシュまでしっかり走り切ってくれるものと信じている。

開幕戦同様厳しい出だしとなった土曜日だが、チームは「少しでも次に繋がられるようにやれることを積み上げていく」と前を向いている。明日の決勝も開幕戦のような粘り強く、ミスなく、それぞれがしっかりと役割を果たして一つでもポジションを上へあげ、2戦連続のポイント獲得を目指す。

3時間の長い戦い。武士監督の采配と HOPPY Team TSUCHIYA のチーム全員の奮闘に期待して欲しい。

▼土屋武士監督コメント

「2戦連続でグループ最後尾となり、応援してくださっている皆さんには申し訳ない気持ちでいっぱいです。まずはこの結果を受け止めます。これまではタイヤとのマッチングが原因の一つだと思っていましたが、今回それが根本原因ではないことが判明しました。機械を使っている以上必ず原因があるので、まずはその原因究明に全力を注ぎたいと思います。明日の決勝も考えること全てをトライし次につながるように諦めずに最後まで走り切りたいと思います」



▼松井孝允選手コメント

「苦戦している原因（の解決策）を、チームとやり切れるだけやりきった上でのレースをやらないと応援してくださる皆さんに対しても申し訳ないですし、とにかくやれることをやり切って、決勝を迎えたいと思います」

▼佐藤公哉選手コメント

「公式練習から引き続き苦戦したまま、非常に残念な結果となってしまいました。公式練習からアジャストしてなんとかしようとしたが、本当に大苦戦でした。決勝はまた後ろの方からのスタートになりますが、まずは粘り強く完走目指して、拾えるチャンスは全部拾って、またポイントゲットできるように、ちょっとでもいいクルマにできるように最善を尽くしていきたいです。」

◎YouTubeチャンネル「つちやエンジニアリング_sub_ch」を開設しました。

ぜひご覧ください。 https://www.youtube.com/@tsuchiya_25

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原2507

TEL : 0466-49-5010 FAX : 0466-49-5011

担当： 土屋・豊原